

みずほCustomer Desk Report 2020/12/07 号(As of 2020/12/04)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	103.83	1.2144	126.08	1.3453	0.7437
SYD-NY High	104.24	1.2177	126.66	1.3540	0.7443
SYD-NY Low	103.74	1.2110	126.06	1.3409	0.7410
NY 5:00 PM	104.20	1.2121	126.24	1.3431	0.7426
NY DOW	30,218.26	248.74	日本2年債	-0.14	▲1.00bp
NASDAQ	12,464.23	87.05	日本10年債	0.02	0.00bp
S&P	3,699.12	32.40	米国2年債	0.152	0.01bp
日経平均	26,751.24	▲ 58.13	米国5年債	0.422	2.70bp
TOPIX	1,775.94	0.69	米国10年債	0.972	6.13bp
シカゴ日経先物	26,855.00	130.00	独10年債	-0.5450	0.40bp
ロンドンFT	6,550.23	59.96	英10年債	0.3500	2.85bp
DAX	13,298.96	46.10	豪10年債	1.0010	0.10bp
ハンセン指数	26,835.92	107.42	USDJPY 1M Vol	5.83	▲0.02%
上海総合	3,444.58	2.45	USDJPY 3M Vol	6.40	▲0.15%
NY金	1,840.00	▲ 1.10	USDJPY 6M Vol	6.69	▲0.11%
WTI	46.26	0.62	USDJPY 1M 25RR	-0.74	Yen Call Over
CRB指数	159.894	0.58	EURJPY 3M Vol	6.93	▲0.06%
ドルインデックス	90.70	▲ 0.01	EURJPY 6M Vol	7.10	▲0.03%

東京	東京時間のドル円は103.83レベルでオープン。目新しい材料に欠け米雇用統計の発表も今晚に控え動意に乏しい展開。一時103.99まで上昇する場面があるも104円乗せを示現出来ず結局103.86レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円は様子見となった。103.86レベルでオープン。11月米雇用統計の発表を午後1時に控え小幅レンジ内(103.84-104.07)での動きとなり104.00レベルでニューヨークへ渡った。ポンドは英国の欧州離脱移行期間終了まで4週間を切る中その動向を睨みながら乱高下した。1.3447レベルでオープン。英閣僚が「欧州との通商協議は困難な局面である」と述べたため1.3409まで売られた。しかし、その後、EU当局者が「英国と欧州連合の貿易交渉を巡る合意は近い」と発言したとの一部報道を受けポンドは買われ高値1.3495を付け高値圏のままニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は103円台後半でスタート。米雇用統計の発表を控えて様子見ムードが強い中でも、ダウ先物が3万ドル台を回復する動きを眺め、104.07まで上昇し、104.00レベルでNYオープン。朝方は注目の米11月雇用統計が発表され、非農業部門雇用者数が予想を大きく下回るも、失業率や平均時給が予想以上に改善しており、強弱まちまちの結果となった。発表直後にドル円も上下する場面もあったがレンジは狭く、その後は米長期金利が1%に近付く動きにつられ、104.24まで上昇。しかし、コロナウイルスワクチンの実用化や米経済対策への期待感を背景に米株が堅調な推移を見せる中、リスク志向のドル売りも見られ、この水準で伸び悩む。午後は週末を前に積極的な取引が手控えられ、104.10近辺の狭いレンジで推移し、結局、104.20レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.21台半ばでの底堅い推移でスタートするが、独10月製造業新規受注が予想以上に改善したことを受けて、じわりとユーロ買いが強まる。一時1.2177まで上昇し、1.2159レベルでNYオープン。朝方は非農業部門雇用者数が予想を下回ったことに反応し、ドル買いが強まり、1.2132まで下落するも、米株が底堅く推移しており、リスクオフのドル売りにサポートれ、1.2171まで反発。その後は米金利の上昇が嫌気され、利益確定の売りが先行し、じりじりと反落。午後は週末前で利益確定売りが一段と強まったことから下落のペースが加速し、一時1.2110を割ち、終盤は小幅値戻し、1.2121レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなすようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:天雲・小林 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

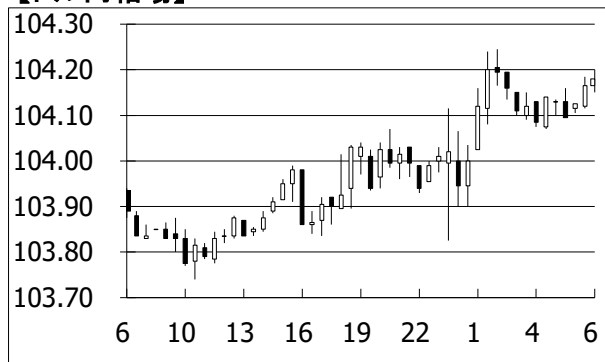
【昨日の指標等】

Date	Time	Event			結果	予想
12月4日	09:30	豪	小売売上高(前月比)	10月	1.4%	-
	16:00	独	製造業受注(前月比)	10月	2.9%	1.5%
	22:30	米	非農業部門雇用者数変化	11月	245k	460k
	22:30	米	失業率	11月	6.7%	6.7%
	22:30	米	平均時給(前月比/前年比)	11月	0.3%/4.4%	0.1%/4.2%
	22:30	米	貿易収支	10月	-\$63.1b	-\$64.8b
12月5日	00:00	米	製造業受注(前月比)	10月	1.0%	0.8%
	00:00	米	耐久財受注(前月比)・確報	10月	1.3%	1.3%

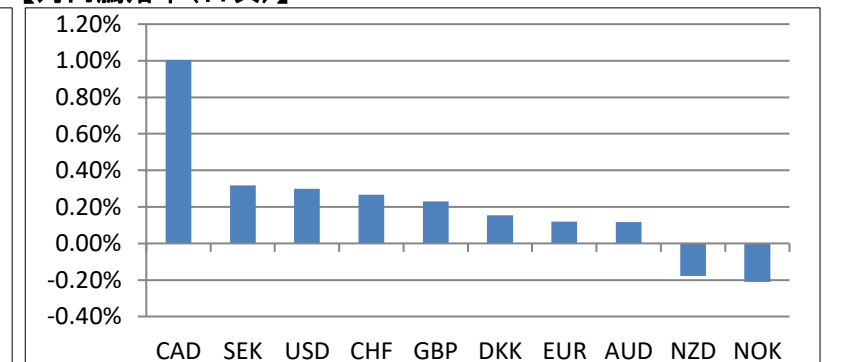
【本日の予定】

Date	Time	Event		予想	前回	
12月7日	14:00	日	景気一致指数・速報	10月	85.8	81.1
	16:00	独	鉱工業生産(季調済/前月比)	10月	1.6%	1.6%
		中	輸出/輸入(前年比)	11月	12%/7%	11.4%/4.7%
		中	貿易収支	11月	\$53.75b	\$58.44b

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.60-104.50	1.2100-1.2200	125.60-126.60

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル/円はレンジ相場となった。東京時間は、新しい材料に欠け米雇用統計の発表も控え、動意に乏しい展開となり103円台後半で推移。海外時間に入り、米11月雇用統計が発表されたが、強弱混合の結果に市場の反応は限定的であった。その後、米長期金利上昇を背景に104円台前半まで上昇。一巡後は、コロナウイルスワクチンの実用化や米経済対策への期待感を背景に米株が堅調な推移を見せる中、リスク志向のドル売りも見られ、上値の重い推移となった。

本日のドル/円は、104円を挟んでのレンジ相場を予想。コロナウイルスワクチンの実用化や経済対策への期待感より、リスク選好ムードは継続し、ドル売り優勢の地合いは継続すると思われる。もっとも、米長期金利の足元上昇を鑑みると下値も底堅く、ワクチンの開発に関する報道を睨みながら、引き続きレンジ相場を想定したい。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア		8	14